2020 年 5 月 27 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

「未来創生 2 号ファンド」
建設土木クラウド運営の株式会社フォトラクションへの投資実行
―建設関連データを扱う『Photoruction』と、新サービス「建設 BPO」の拡大を目指す―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、建設・土木の生産支援クラウド『Photoruction（フォトラクション）』運営の株式会社フォトラクション（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：中島 貴春。以下、フォトラクション社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせします。フォトラクション社は、日本国内外の建設業をはじめとする事業会社に『Photoruction（フォトラクション）』を広く提供しており、業界と連携しながら DX（デジタルトランスフォーメーション）を支援しています。フォトラクション社は今回の資金調達を経て、『Photoruction』の更なる導入促進と、人工知能 AI を活用した「建設 BPO※」の拡大を目指し、建設土木業界のより良い働き方を支える重要なクラウド SaaS としての役割を加速してまいります。

※BPO：Business Process Outsourcing の略。企業活動における業務プロセスの一部を一括して外部委託すること。

■投資先企業の概要

建設業界経験とサービス開発力を兼ね備えたチームにより、2016 年 3 月創業。建設・土木の業務支援クラウド『Photoruction』を中心とした、建設業界の DX を支えるサービスを提供。建設技術者の扱う膨大な情報を効率的に管理し生産を支援、また蓄積されたデータを活かした AI の開発等を行う。

会社名：株式会社フォトラクション
代表取締役：中島 貴春
設立：2016 年 3 月 14 日
所在地：〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 10-2 ACN 日本橋ビル 5 階
WEB：https://www.photoruction.com/corp

■「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2020 年 4 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわ

せて、1,093 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com